

健康診断書 (情報提供書)

(利用申込用)

病院名

医師名(科)

㊞

御中

(記入日 年 月 日)

フリガナ		男・女	現在の診療状況 ・在宅() ・入院中() ・入居中()	要介護度 ・要支援 ・要介護 1 2 3 4 5		
氏名	様					
生年月日	明・大・昭 年 月 日 (才)					
傷病名	発症 年 月 日	アレルギー (薬・食品・その他)	無・有 ()			
		褥瘡	無・有(部位)			
		身長 cm 体重 kg 血圧 mmHg 脈拍 /min(整・不整) 理学的所見	視力障害(無・有) 難聴 (無・有) 嚥下障害(無・有) 排尿障害(無・有) 膀胱留置カテの必要性 (無・有) 必要の理由()			
既往歴	発症 年 月 日	浮腫(無・有)				
病状及び 治療経過		日常生活自立度	裏面「日常生活自立度基準」を御参照下さい。 (寝たきり度) J A1 A2 B1 B2 C1 C2 (認知症度) I II III IV M			
			日常会話	可 ・ 不可		
			意思の疎通	可 ・ かるうじで可 ・ 不可		
			精神状態	情動失禁 易興奮性 幻覚 妄想		
			行動異常	徘徊 放尿 弄便 暴力行為()		
現在の処方		血	WBC()	感染症	MRSA(一・十)	
			RBC()		結核の既往(無・有)	
			Hb()		HBS抗原(一・十)	
			Ht()		HCV抗体(一・十)	
			アルブミン()		TPHA (一・十)	
		液	GOT()	胸部 X線	・問題なし ・所見あり (具体的に)	
			GPT()			
			γ-GTP()			
			クレアチニン()			
			BUN()			
心電図	UA()	心電図	・正常範囲内・所見あり (具体的に)			
	総コレステロール ()					
	中性脂肪()					
			血糖()			
			HbA _{1c} ()※			

※糖尿病の方のみ

・障害老人の日常生活自立度判定基準

(平成3年11月18日老健第102-2号厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知より)

ランク		判断基準
生活自立	J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	C	日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

・認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	
III a	日中を中心として上記IIIの状態がみられる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行動、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しく精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等